

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	1. 船舶航跡システム(VMAC)に係る船舶用端末等の設置及び保守・運用業務	
	・1者応札に対する具体的な改善策として行っている入札参加者への声かけというのは通常どのように行われているのか。	・過去に入札説明書を取りに来られた業者又は、話を聞きたいと連絡があった業者に対して電話したり、メールで関係書類を送ったりしています。
	・過去3年とも同じ船で行っているのか。	・毎年同じ船への付け替えではなく、代船となった船への端末の移設や新規に許可を受けた漁船への端末の設置等となります。
	2. 令和3年度資源回復のための種苗育成・放流手法検討事業	
	・事業を行えるのは経験と専門性が高いところに限られている感じがするが、新規に参入してくるような可能性はあるのか。	・とりまとめ機関として関心を示すということがあるかもしれませんが、専門的な知見・掛かる経費のことを考えた結果、このような応札状況になっているのではないかと推察されます。
	3. 令和3年度効果的な外来魚等抑制管理技術開発事業	
	(特になし)	—
	4. 令和3年度先端技術を活用したカワウ被害対策開発事業	
	(特になし)	—
	5. 令和3年度新たな資源管理システム構築促進事業のうち国際資源の管理体制構築促進事業のうちまぐろ類流通調査分析事業	
・2本立て(まぐろのDNA分析の技術開発及び市場流通調査での流通実態の把握)となっているが、分割することにより入札に参加できる者が増えるのではないか。	・DNA分析の結果及び流通調査を踏まえて報告をまとめなければならないため、分割するより同じ中で事業を実施した方が効率的かと考えています。	
6. 照洋丸第2種A中間検査及び一般修繕		
(特になし)	—	
7. 古紙再生紙の購入		
(特になし)	—	
8. 令和3年度新たな資源管理システム構築促進事業のうち国際資源の管理体制構築促進事業のうち科学オブザーバー調査分析事業		
・1者応札の改善策に過年度調査の事業報告書の資料を事業者が求める形で閲覧可能とすると書かれているが、今後求められた時に提示することになるのか。	・入札を検討している事業者から求めがあった際、対応することとしています。	
・共同企業体として参加している企業の役割・能力などを把握した上で入札の作業は行っていたらと思います。	—	
9. 令和3年度水産資源調査・評価推進委託事業		
・再委託先をまとめた一覧にある「再委託を行う構成員」とその隣の「氏名又は名称」とあるが、これはどういう関係なのか。	・「再委託を行う構成員」とは国から委託事業を受けている共同研究機関への参加機関で、その隣が、再委託契約先となっています。	
・「氏名又は名称」が書いていないのは、またどこかに再委託するということか。	・この場合は事業開始までに採択先が決まっていなかったもので、落札者が決定した時点で、承認申請をしてもらい承認通知を出しています。	
10. 令和3年度ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業		
(特になし)	—	

委員会による意見の具申又は勧告の内容 〔これらに対し部局長が講じた措置〕	特になし
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班	